

第3次当別町生涯学習推進計画 の評価・検証報告書 (平成21年度)

1. 評価・検証について
2. 社会教育委員による当別町生涯学習推進計画評価・検証の流れ
3. 平成21年度当別町生涯学習推進計画評価シート

当別町教育委員会

評価・検証について
(第3次当別町生涯学習推進計画より抜粋)

Why?

なぜ、評価が必要なのか? 重要なのか?

5ヶ年計画であることを考えると、1年ごとの検証・見直しが必要である。
一般的に前例踏襲という風潮がある中で、今後よりよい成果を生むためのステップとして、分析・判断などの評価がとても重要である。
行政側のみが単独で行う評価ではなく、第三者評価が入ることにより、評価がより明確化される。ただし、誰もが関わりやすい評価の仕方・検証を重視

Who?

だれが、評価をするのか?

事業を行った職員、機関、団体あるいは担当者 = 自己評価
各年度毎に社会教育委員 = 他者による評価・第三者評価

What?

なにを、評価するのか?

生涯学習推進計画の各期<さらに発展させていきたいこと>を中心に評価・検証する。
各事業の結果(各事業の参加者数や参加アンケート等を参考)を評価する。 1
各事業の成果や効果(各事業における波及効果等を参考)を評価する。 2

When?

いつ、評価するのか?

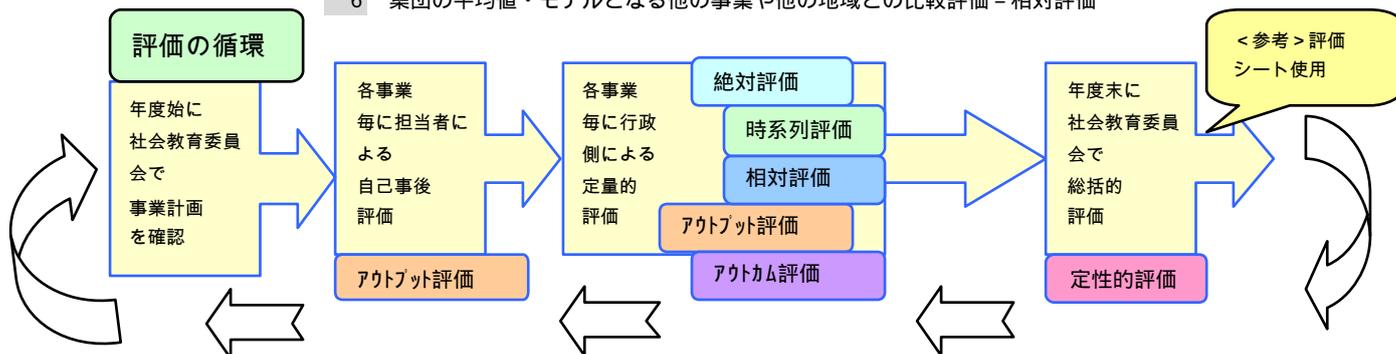
各事業終了後に事後評価する。
総括的評価を年度末の社会教育委員会にて行う。
結果を、教育委員会HPに掲載し、新年度に生かす方策を検討する。

How?

どのように、評価するのか?

<参考>評価シートを使って、質・量(3)をとらえての意見交換をし、評価・検証する。
解釈の基準(3つの評価を前提にしながらの、総合的な意見交換を行う。)
(1)一定の基準を設けて、それに達しているかどうかの評価 4
(2)過去から同じインターバルで測定した結果から達成度・傾向性などを評価 5
(3)集団の平均値・モデルとなる他の事業や他の地域との比較評価 6

- 1 事業の結果について評価 = アウトプット評価
- 2 事業の成果や効果について評価 = アウトカム評価
- 3 質をとらえての評価 = 定性的評価、量をとらえての評価 = 定量的評価
- 4 一定の基準を設けて、それに達しているかどうかの評価 = 絶対評価
- 5 過去から同じインターバルで測定した結果から達成度・傾向性などを評価 = 時系列評価
- 6 集団の平均値・モデルとなる他の事業や他の地域との比較評価 = 相対評価



社会教育委員による第3次当別町生涯学習推進計画の評価・検証の流れ

現在の当別町が支援している生涯学習についての評価・検証について（年度毎に社会教育委員で行う）理解されている範囲で、現状の満足度・今後の重要度の評価の数値を、当てはまる数字に 印を付ける。

教育委員会から提供する評価する際の判断材料

事業視察

（毎月月初めに「社会教育課内月間行事予定表」を社会教育委員へ送付）

社会教育事業評価一覧表、社会教育事業評価報告書、学校教育評価票

（社会教育課が作成した事業概要がわかる資料）

第1回社会教育委員会（4月28日）

- ・生涯学習推進計画の評価を社会教育委員会で行う旨説明。
- ・以後、事業情報を送付するのでできるだけ事業に参加または視察に来てほしい旨依頼。

第2回社会教育委員会（12月9日）

- ・評価する意義や方法等を確認
- ・社会教育事業評価一覧表、社会教育事業報告書（中間報告）、学校教育評価票の提示
- ・生涯学習推進計画評価シートの作成（練習）

3月8日 教育委員会から各委員へ、中間報告以降の事業報告書の送付
3月16日まで 各委員は事業報告書を参照の上、下記の評価シートを教育委員会へ提出

「平成21年度当別町生涯学習推進計画評価シート」

「平成21年度当別町社会教育事業評価シート」

教育委員会は、各委員から提出された評価シートを集計

第3回社会教育委員会（3月19日）

- ・評価シート集計を参照しながら、社会教育委員で協議し、各期ごとに「現状の満足度」「今後の重要度」をまとめる。
- （21年度の評価を受け、これまで以上に工夫が必要な事業や力を入れるべき事業、または廃止すべき事業については22年度の単年計画へ反映させる。ただし、予算が関わる事業については23年度に反映させる。）

平成21年度当別町生涯学習推進計画評価シート

現在の当別町が支援している生涯学習についての評価・検証について（年度毎に社会教育委員で行つ）

現状評価・今後の重要度	現状の満足度					今後の重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	特に重要	重要	あまり重要でない	重要でない	わからない
設問項目 当別町生涯学習推進計画 自己のライフプラン （各期さらに発展させていきたいこと）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
< 乳幼児期（保育所・幼稚園など） > 町内の各子育てサークル等の団体活動の促進 幼稚園・保育所の一体化に向けた子育て環境の促進 体験育（体験でふれあい、体験で学び、体験で育つ） 本育（本にふれあい、本に学び、本で育つ） 交流育（交流でふれあい、交流で学び、交流で育つ）	やや満足 4					特に重要 5				
	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の家庭教育は大変重要。子育て支援のための施策充実を。 ・三つ子の魂は百まで。この時期の感性を育むことが特に重要。 									
< 少年期（小学校） > 学習育 1（学ぶことの楽しさを知り、意欲的に学び、学びの中で育つ） 徳育（道徳でふれあい、道徳に学び、道徳にて育つ） 活動育（活動でふれあい、活動で学び、活動で育つ）	やや満足 4					特に重要 5				
	<ul style="list-style-type: none"> ・乳、小児期の育成はもっとも大切。家庭教育が希薄な今、教育事業で取り上げてほしい。 ・心身ともに健康な子どもの育成には社会教育の果たす役割は大きい。多様な取組みに敬意を表すと共に益々の充実を期待。 ・規則正しい集団生活への対応。学力低下改善のため学校、地域で学習、道徳、運動を促進。 									
< 少年期（中学校） > 学習育 2（様々な学習にふれあい、様々な学習を学び、様々な学習社会で育つ） リーダー育（リーダーとしてのふれあい、リーダーとしての学び、リーダーとして育つ）	やや満足 4					重要 4				
	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動を通じて仲間の大切さ将来の目標を探る。 									
< 少年期（高等学校など） > 公共育（地域社会とふれあい、公共心を学び、地域社会で育つ） ボランティア育（ボランティアにふれあい、ボランティアを学び、ボランティアで育つ）	やや満足 4					重要 4				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアリーダーの活躍が素晴らしい。 ・ボランティア活動を通じて地域社会と連携し人間形成を育む。 									
< 青年期（大学など） > コミュニティー活動、地域行事への参加 文化・スポーツ活動への参加	やや満足 4					重要 4				
	<ul style="list-style-type: none"> ・この時期の文化・スポーツ活動活性化支援に向けた取組みが必要。 									
< 成年期 > コミュニティーにおける地域活動への積極的な参加 妊娠・出産・育児・教育への適切な対応 心身の健康保持	やや満足 4					重要 4				
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型スポーツクラブと協力し、楽しく活動。壮年、熟年も同じ。 									

<p>< 壮年期 > 地域の人材を活用した人材バンク登録制度（とうべつ知恵袋）の拡大 地域全体で学校を支援する学校支援地域本部事業の促進 「当別町青少年健全育成町民のつどい」の効果的な実施 安全な生活、防犯・防火・防災活動</p>	<p>やや満足 <input type="checkbox"/> 4</p>	<p>重要 <input type="checkbox"/> 4</p>
<p>< 熟年期 > 地域の歴史や文化の伝承 生活の知恵の伝承、習得した専門的知識・技能の社会への還元</p>	<p>やや満足 <input type="checkbox"/> 4</p>	<p>重要 <input type="checkbox"/> 4</p>
<p>合 計</p>	<p><input type="checkbox"/> 32 / 40</p>	<p><input type="checkbox"/> 34 / 40</p>

・地域貢献。住んでよかった町を目指す。

・生きがいをもてる活動。趣味や特技を通して社会貢献。